【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】令和7年4月30日(2025.4.30)

【国際公開番号】WO2024/127990
【出願番号】特願2024-564264(P2024-564264)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｇ 17/0185(2006.01)
Ｂ６０Ｇ 17/015(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｇ 17/0185
Ｂ６０Ｇ 17/015 Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和7年2月14日(2025.2.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
車両に設けられた少なくとも３つ以上のセンサの異常を検出するセンサ異常検出装置であって、
前記車両の走行速度が入力される走行速度入力部と、
第１センサの信号変動幅が入力される第１センサ入力部と、
第２センサの信号変動幅が入力される第２センサ入力部と、
前記走行速度入力部による走行速度が第１速度以上であって、前記第１センサ入力部の第１センサ入力値および前記第２センサ入力部の第２センサ入力値のうち一方の信号変動幅が第１変動幅よりも大きいとき、または、一方の信号変動幅が他方の信号変動幅よりも大きいときは、残余のセンサの信号変動幅と前記一方の信号変動幅とを比較する第１判断部と、を有するセンサ異常検出装置。
【請求項２】
請求項１に記載のセンサ異常検出装置であって、
前記走行速度入力部による走行速度が第２速度以下であって、前記第１センサ入力部の第１センサ入力値および前記第２センサ入力部の第２センサ入力値のうち一方の信号変動幅が第２変動幅よりも大きく、かつ他方の信号変動幅よりも大きいか否かを判断する第２判断部をさらに有するセンサ異常検出装置。
【請求項３】
請求項１に記載のセンサ異常検出装置であって、
車両モデル情報から車両挙動を推定して車両挙動推定値を求めるモデル推定値算出部と、
前記車両挙動推定値と前記第１センサ入力値または前記第２センサ入力値とを比較する比較判断部と、
をさらに有するセンサ異常検出装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】

【０００６】

本発明の一実施形態は、車両に設けられた少なくとも３つ以上のセンサの異常を検出するセンサ異常検出装置であって、前記車両の走行速度が入力される走行速度入力部と、第１センサの信号変動幅が入力される第１センサ入力部と、第２センサの信号変動幅が入力される第２センサ入力部と、前記走行速度入力部による走行速度が第１速度以上であって、前記第１センサ入力部の第１センサ入力値および前記第２センサ入力部の第２センサ入力値のうち一方の信号変動幅が第１変動幅よりも大きいとき、または、一方の信号変動幅が他方の信号変動幅よりも大きいときは、残余のセンサの信号変動幅と前記一方の信号変動幅とを比較する第１判断部と、を有することを特徴としている。